



発行

平成 25 年 7 月 13 日

相模原市文化財調査・普及員  
広報グループ

文化庁指定  
文化財愛護  
シンボルマーク

両手のひらと日本  
建築伝統の組物を  
イメージしたもの

～「さねさし」とは、相模の枕詞です～

## 古民家園 保存・普及事業 忍者とあそぼう！



忍者とミウルに忍者の説明や道具の実演をしてもらいました

5月26日の日曜日、大島にある相模川自然の村公園内古民家園において、古民家園保存・普及事業「忍者とあそぼう！」を行い、参加者は160人を超えました。

趣味で忍者のコスプレをしている2人組が、忍者の歴史や、活躍した時代について話しながら、おなじみの手裏剣、まきびし(もちろん模造品)などを、実演をまじえながら忍者に関するクイズを出題。この日は緑区のイメージキャラクター・ミウルも参加し、「服部半蔵はどんな忍者だったの?」とか、「アニメ『忍たま乱太郎』は...?」などのクイズを楽しみました。

参加者みんなで盛り上がったところで、「じゃあ実際に手裏剣を投げてみよう!」と各自折り紙で手裏剣を折り、年齢に応じたレベルの大中小の的に投げ入れて遊びました。

最後に、忍者・ミウルと一緒に記念写真を撮り、楽しかった事業は終了しました。

(古民家園保存・普及事業実行委員会 西田)

### 目次

忍者とあそぼう!

- ・ 緑区大沢の野鳥たち
- ・ 「グレートジャーニー・人類の旅」展
- ・ 古淵 大日堂の和讃
- ・ 市民の力で福田家の蔵の収蔵品展
- ・ 文化財マップ紹介 東南班  
～ 行幸道路市域に行く(その1)～
- ・ 文化財保護課からのお知らせ



自分で作った手裏剣を、様々な大きさの的に投げ入れました



最後はみんなで一緒に忍者、ミウルと集合写真を撮りました

## 緑区大沢の野鳥たち

市域の気候は平均気温 14.6 、年降水量 1,711mm で、内陸部寄りに位置しており、北西・南東の季節風や丹沢山系・関東山地の影響を受け、冬寒く夏蒸し暑い太平洋気候です。これらの環境の中で、哺乳類、両生類、爬虫類、鳥類、魚類、昆虫類あるいは植物などの生き物が見られます。特に緑区大沢地域は西に相模川、東に鳩川が流れ、中央部に畑が広がり、中洲に水田もあります。段丘崖の斜面緑地や水系にも緑が残る自然豊かな土地柄です。今回、大沢地域に生息する野鳥たちについてご紹介いたします。

羽が青緑色に輝くカワセミと、白黒の鹿子模様と頭に冠羽があるヤマセミは相模川水系を飛翔して魚を獲っています。



カワセミ（原昭修氏撮影）

特に山に生息するというヤマセミは、<sup>りゅうちょう</sup>留鳥ですが警戒心が強くめったに姿を現しません。羽が白く足が黒いコサギは、河川や水田などに集団で群れる留鳥です。

羽が白く嘴の基部は黄色で先端は黒いコハクチョウは、今年3月初旬に相模川水系に数羽見られました。今年初



アオバズク（原昭修氏撮影）

めて渡来したので、来年渡来するかは定かではありません。通常、シベリアから冬鳥として北日本や日本海側の河口や内湾、湖水に渡来し越冬する渡り鳥です。

オスの羽色が美しい草原の鳥・雉は、日本の国鳥で、春先に畑の茂みでヒナを育てます。青葉の頃に渡来することからそう呼ばれることになったアオバズクは、鎮守の杜などの大木に巣を作りヒナを育てます。金と黒色の目が印象的です。昼間は枝に数羽が並んでとまっています。晩秋の頃、親子で去っていきます。

みなさんぜひ野鳥を観察してみてください。

（北部班 駿河）

## 国立科学博物館特別展『グレートジャーニー・人類の旅』を見学して

人間はどこから来て、どこへ行くのか。

壮大なテーマを掲げた国立科学博物館の特別展「グレートジャーニー・人類の旅 この星に、生き残るための物語」を西部班の8名で見学しました。

この特別展の監修は、人類の大移動の最終地である南アメリカから逆に移動した、探検家であり医師でもある関野吉晴さん。関野さんは1993年から足掛け10年をかけて、約20万年前にアフリカで誕生した現生人類（ホモ・サピエンス）が、6万年前から地球上に拡散し、南アメリカの最南端まで達する約5万キロに及ぶはるかな旅路を、自転車やカヌー、犬ぞりなどで踏破されました。



グレートジャーニー・人類の旅  
HPより抜粋

関野さんは、「アマゾンやアンデス、アラスカ、シベリアなどで出会った人々との交流のなかで共通しているのは、自然を利用しつつ破壊せず、自然の一部となって暮らす暮らし方だ」と指摘しています。

自然を破壊し建設された原発の惨事をみるにつけ、なんとも耳の痛い話です。

人類が、猿人、原人、旧人、新人と続いてきたはるかな足跡は、そのどこかが欠けても今日を迎えることはできなかったと思うと、展示物を見ながら不思議な気になりました。

また、18世紀の探検家ジェームス・クックは、南太平洋のほとんどすべての島々に人が住んでいる、もしくは足を踏み入れた形跡があり、かつ、その大部分に共通する言語と文化が存在したことに驚愕したといわれていますが、どのような方法で人や文化が海を越えていったのかも展示から理解することができました。

この特別展で得られたものを、八テナ館や勝坂でのボランティア活動に活かしていきたいと思っています。

（西部班 永山）

## 古淵 大日堂の和讃

かつて鎌倉幕府滅亡後に、現在の古淵の大日堂付近で、足利氏と北条氏の合戦(井出の沢の戦い)があり、その戦死者の弔いのために本堂(白楊山返常寺という寺であったとも)が建てられたと伝えられています。「月の七日は、ねはんの日」と和讃の中に唄われるように、毎月七日にご縁のある人たちが集い、和讃を唱えています。その内容は当時の合戦の様子を唄ったものです。



「唱えたてまつる、大日如来さま 御信言」とリーダーが第一声を発すると、皆さんで「青空に・・・とくだいいむげの・・・風吹かば・・・」と続きます。三

回繰り返した後、次に再びリーダーが「大日如来様和讃」と唱えて皆さんで「帰命頂礼大日如来、ゆわれくわしくたずぬれば」と当時の合戦の様子が唄われています。静かに耳を澄まして聞き入ってしまいましたが、なぜか心が落ち着いてきました。供養する気持ちが聞く人にも伝わってくるのでしょうか。紫色の袖なしの衣を着て、首にはたすきを掛け、左手に鈴を持ち、右手で鐘を叩く仕草も厳かでした。やはりここでも「後継者問題に頭が痛い」と皆さん口にされていました。

本尊の「大日如来」様は秘仏で、六十年に一度だけご開帳されるようです。近年では平成4年に行われ、その様子が堂内の写真に収められています。



(東部班 渡辺)

## 市民の力で博物館にて福田家の蔵の収蔵品展

下溝福田家では明治30年に建てられた二階建ての蔵に江戸時代からの品々が収蔵されています。平成24年秋に蔵から衣類、食器、節供、<sup>もつく</sup>宗教関係道具などを選別して、相模原市立博物館に寄贈する事になり、現在も整理中です。今回の作業は文化財調査・普及員南部班の有志を中心に実施し、その後メンバーに入れ替えがあり、「福の会」というグループになりました。作業の経緯を述べると、9月頃に蔵から資料を選択し、運び出しました。その時まず蔵の平面図を作成し、各々の資料が何階のどの場所の、どこにあったかを書きとめ、そのメモを資料に添付して、主屋の土間に移しました。その後12月に博物館に移送し、まず清掃をしました。100点以上ある衣類を一点ずつ天日干しを行い、下駄、草履、食器、家具、鍋、釜などは、全て水洗いし、干したのち、<sup>くじょう</sup>燻蒸を行って、収蔵庫に収めました。その間全ての資料の記述カードを作成し、写真を撮りました。次にその資料の寸法、品物名、内容などをカードに書き、写真も添付しました。資料には江戸時代からの様々なものがあり、品名などの記述内容の調査も大変でし

た。

これらの資料の整理中、5月25日から6月30日まで市立博物館の特別展示室で展示することになり、2月頃から展示品を選別し、収蔵庫から移送し、展示方法を試行錯誤しながら、無事に展示会となりました。

なお、寄贈品以外に福田家からは既に江戸時代の古文書が寄託されていますが、今回の蔵の調査により、新たに多くの古文書が発見され、「古文書を読む会」の協力により近世・近代初期の古文書の整理が行われています。文書1件毎に作成年代、形式、表題、破損状況、発行者、受領者、内容などを読み解き、カードに記述し、写真を撮っています。

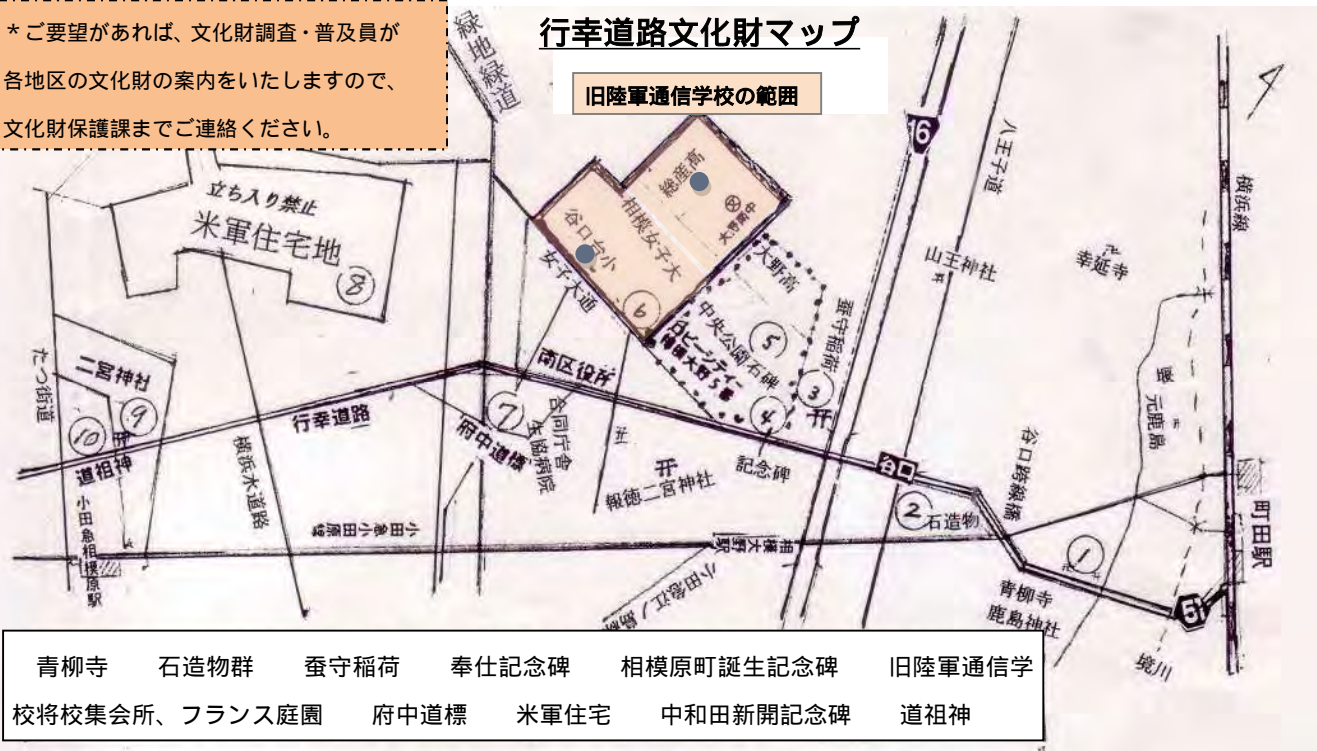
(南部班 福田)



## 行幸道路（県道51）の市域を行く（その1）

\*ご要望があれば、文化財調査・普及員が各地区の文化財の案内をいたしますので、文化財保護課までご連絡ください。

### 行幸道路文化財マップ



行幸道路はJR町田駅～キャンプ座間の約7kmの通り（以下「本道」という）の通称ですが、その沿道の主な文化財を巡ります。

**青柳寺**：武相困民党発祥碑他数多の石造物があり隣地の鹿島神社は上鶴間谷口の鎮守。ここから谷口跨線橋まで150mはやや上りで、後は平坦です。  
**旧庫裡**は現在古民家園に移築・復原されています。  
**石造物群**：庚申堂、題目塔、常夜塔（東日本大震災で損壊）約20m南に力石、八王子道標があります。

**蚕守稲荷**：往時は養蚕の神として賑わい、周辺の昔の桑畑は今や高層ビル化しました。

**奉仕記念碑**：昭和12年陸軍士官学校卒業式に天皇行幸の為、多数の男女青年団、学徒等が本道造りに奉仕。以後修復を重ね、直線状にしました。  
**相模原町誕生60年記念碑**：相模大野中央公園内にあります。碑は平成13年建立で、昭和16年に2町6村が併合して日本最大の面積（約108km<sup>2</sup>）の町となりました。図点線内は陸軍病院 米軍医療センター跡です。

「兵どもの夢の」今や近代ビル都市施設が並ぶ。

今回は ①～⑩をご紹介します。

（東南班 松本）

### 文化財保護課からのお知らせ

#### ボランティア 文化財調査・普及員 第6期生を募集します！

年2回の文化財パトロールや、各文化財での普及イベントのスタッフとして、一緒に活動しませんか。全7回の講習会受講後、意欲のある方を登録させていただきます。

#### \*応募方法\*

氏名、住所、電話番号、年齢を明記のうえ、ハガキ・FAX・電子メールにて文化財保護課までご応募ください。後日、講習会の案内を送付します。

#### \*応募先\*

- ・住所：252-5277  
相模原市中央区中央 2-11-15  
相模原市教育委員会 文化財保護課
- ・FAX：042-754-7990
- ・メール：  
bunkazai@city.sagamihara.kanagawa.jp
- 締め切り：8月15日（木）（必着）



\*文化財調査・普及員の活動や通信紙「さねさし」のバックナンバーは相模原市のホームページから閲覧できます。

発行連絡先 相模原市教育委員会 文化財保護課 電話042-769-8371